



みらい

2010.7
夏号

③

こびとの森保育園
(彩湖・道満グリーンパークにて)

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

さいたま市私立幼稚園協会会長、さいたま市私立保育園協会会長対談…P2～3
研究・研修部会 部会活動報告…P4～5 部会報告・青年会ニュース…P6
市長・議長へ要望書を提出・新会員紹介・編集後記…P7 保育園紹介…P8



さいたま市私立幼稚園協会会長、さいたま市私立保育園協会会長対談

保育園・幼稚園の垣根を越えて



司会

最近の親ごさん、特にお母さんを見ていて感じることはお二人にとって共通点も多いと思いますが・・・

浅沼

お母さん自身の子育ての経験が少ない家庭が増えていると感じています。昔なら近所の子育てのネットワークがあり、お互いに助け合っていたのに、今は、子育ての本やインターネットの情報がたくさんあっても、本当のサポーターからの情報は少なく、情報に振り回されてマニュアルで頭でっかちになっている印象が歪めません。幼稚園選びについても然りで、情報に振り回されて本質を見失ってしまっているように感じられます。

司会

新学期が始まり園の様子はいかがですか

浅沼

最初は緊張しているように見受けられましたが、お子さんが慣れるにつれ、お母さんにも笑顔が多くなりました。子ども達には靴箱やトイレの使い方、洋服の脱ぎ着など一つ一つに時間をかけて、丁寧に園生活に慣れていくようにしています。

剣持

はじめて公的な施設にあずける保護者にとっては、我が子はどうなるのか大変心配しながら来ますね。うちの園では今年初めて、0歳児は母親と一緒に慣れ保育に参加していただくことにしました。お母さんにとっては職員と身近な関係がつくられて、安心して子どもを託すようになりました。園での生活時間が長いので子どもたちの様子

司会

本日はお忙しいところありがとうございます。

私たちは昨年度から広報紙を発行することになり、このたび3号の発行にあたり、私立幼稚園会長浅沼先生と私立保育園会長剣持先生の会談が実現しました。幼保一体化や幼保小連携の必要性が叫ばれている昨今、さいたま市就学前児童3万人を有する両協会会長のお二人に忌憚のないご意見をお伺いできればと思います。最初に自己紹介を兼ねて、お二方の経歴をお話いただけますでしょうか？

剣持

大学で技術史の講義を受けてからものを作ること、技術や伝統文化に興味を持つようになり、自分のライフワークになりました。卒業後、幼稚園、小学校、重度心身障害児通所施設に勤めました。長年人と関わる仕事をし

浅沼

してきましたが、年を重ねるほど子どもを取り巻く環境の変化は悪くなるばかりで、子どもの育ちに陰を落とし育つことの難しさを感じます。経験を重ねた保育者は、経験に裏打ちされた知識と多様な視点で子どもを捉えることが出来るし、若い保育者には、新しい情報や情熱、知識欲があり、それぞれ役割が発揮できるように保育園の環境を整えることで子どもの未来を切り開く道を探れるのかな、と思っています。

昭和33年に両親が幼稚園を開園しました。私は食いしん坊のためコックになりました。私には食いのためコックになりました。両親の後を継ぐのは天職と考え幼稚園の先生を養成する学校へ進学、昭和44年に学校を卒業し、お兄さん先生としてひなぎく幼稚園に勤めました。57年に園長となり幼稚園生活41年になりました。

剣持

年月を経ても幼稚園や親子関係も、本質的には変わっていないと思っています。ただ、子育て情報がたくさんある中で、こうでなければいけないという情報にお母さんが縛られてしまっていて、苦しいことも多いと感じることがあります。私たち幼児教育に携わるものとして、お母さんたちに「それでいい」と発信していく義務があると感じています。

色々な形態の幼稚園や保育園があつていいと思いますので、地域の保護者のニーズに答えられる施設であることが一番の条件

を丁寧にお伝えする努力をしています。それを聞いて安心するようです。生活の様子を具体的に話して子どもの成長を共有することで、園との関係が深まります。子育てするのに厳しい環境が目にある状況の中で、せめて子どもたちは保育園の中で、ゆつたりと豊かに過ごせたらと思っています。

司会

ひなぎく幼稚園は仲町小学校と道路を隔てています。わらしべ保育園は土合小学校と隣接していますが、交流はどのような形でしていますか？

また、今後の課題についてお話しだけでもいいでしょうか？

浅沼

仲町小学校とは、1年生の担任と話し合う機会や、園児が小学校に行き生活科の授業に参加したり、トイレや掃除道具を使わせてもらったりしています。卒園児は仲町小学校を含め18校に入学しますが、隣の小学校と交流が持



一般社団法人
さいたま市私立保育園協会
会長 剣持 浩

浅沼

個人的には、幼稚園、保育園の役割が違うので馴染むまで、かなりの努力が必要と考えています。ただ、色々な形態の幼稚園や保育園があつていいと思いますので、地域の保護者のニーズに答えられる施設であることが一番の条件のように思います。

司会

幼稚園と保育園、小学校と幼保の垣根を取り払っていくことが子どもの育ちの連続性を大事にすることにつながりますね。最後にこれまでも話題になつてきた幼保一体化についてお聞かせください。

剣持

わらしべ保育園では、園児が小学校を訪問したり、小学生が授業の一環として来園することがあります。今後、幼保小の連携は大きな課題となつてくると 생각합니다。特に小学校の先生が、幼稚園や保育園でどんな生活をしてきたのか、知ることが大切だと考えています。就学前の子どもたちがどんな生活をしているか知ってもらふ努力が必要ですね。

剣持

みんな同じ方向を向いている必要はないので、異なった理念や子育て観の幼稚園や保育園が、地域に偏らず存在することがお互いに幸せではないかと思っています。

司会

今回は、お二人の保育観・教育観についても触れさせていただきました。今後、小学校、幼稚園、保育園の連携は益々重要になつてきます。幼稚園と保育園の目指すものの共通点と、相違点について相互理解を深めていければと考えています。就学前教育と養護という問題は幼稚園、保育園の壁を乗り越えていかなければ解決しない問題



さいたま市私立幼稚園協会
会長 浅沼 康雄

が山積みです。多くの示唆に富む提言を与えて下さいましてありがとうございます。本日は多忙な中貴重なご意見を拝聴できて大変うれしく思います、ありがとうございます。

広報部

ひなぎく幼稚園は、机や椅子など木の調度品が揃い、全面床暖房、広々とした廊下は雨の日にはサッカー場になるそうです。勤務する先生方の平均勤務年数は18年とお聞きしました。公立保育園並みの勤務年数に驚かされるとともに、子ども達が気持ちよく過ごせる環境は、設備だけでなく、そこに働く人や、子ども達の保護者など、子どもを取り巻く色々な人も大切な環境と改めて感じさせられました。

浅沼先生と剣持先生にはお忙しいところありがとうございます。

紙面をもつてお礼申し上げます。

子育てするのに厳しい環境が目のある状況の中で、ゆつたりと豊かに過ごせたらと思っています。

看護師交流会を通して

看護師交流会



子どもたちの最善の利益を保证するために、保育園は日々努めています。今回のように、国内で新しい感染症が流行するような危機的状況においても、状況にもよりますが出来る限り、子どもたちの保育を継続することが要求されます。そのため、各園は子どもたちの安全を保障しながら保育を継続するために個別に対応に追われました。

新型インフルエンザの対応を聞いたところ、各園の対応がバラバラであることがわかりました。理由として、地域や園内の流行の状況、保育環境、園の方針の違いなど様々あり

ました。しかし共通して言えるのが、その対応をとるにあたり、十分な情報や知識が不足していたことです。そして、各園がそれぞれ、限られた情報や知識をもとに園医や役所にも相談しながら、判断し決断していきました。最終的な決断は園に任されていた。

これからも、多様な状況に対応していく時に必ず必要となる情報や知識を、各園が共有できるよう、この看護師交流会で情報を交換し、知恵を出し合い、発信していきたいと考えています。

主任アンケートより

(57園中26園、回収率46%)

主任経験年数

～1年未満	1人	10年以上	2人
1年以上3年未満	5人	20年以上	1人
3年以上5年未満	7人	未記入	2人
5年以上10年未満	6人		

平均
5.3年

園長の気持ち

園長は主任に何を期待し、望んでいますか

園の理念、方針、考え方、目標を把握した上で、園内のスムーズな人間関係を築くために、仕事分担、ローテーションの作成などに、細かく配慮し、相互協力していくうえで、核になることを期待している。

保育士1人ひとりの生活態度や社会のルールを指導しながら、職員が自立し力が発揮でき、主体性が出せるよう見守り、支援していく。

園長には見えない主任の視点で、保育運営や園児、保護者、安全面等把握したり、保育の指導、計画、援助、新任保育士の指導をしたりし、園長につなげてほしい。

職員とコミュニケーションを多くもち職場の風通しを良くし、相談・意見交換のできる環境をつくり、問題の早期発見、対処をしていく。

主任の気持ち

主任としてのやりがい、悩み、工夫点

新人の指導、育成、また、マニュアルや計画案等の作成をすること。

各クラスの運営状況を把握し、職員間、園長とのパイプ役となり、職員同士の連携がとれたとき。

的確な指示・判断をしていくことの難しさ、またどのようなタイミングで伝えていけばよいか。

職員1人ひとりが前向きに思いを1つに仕事ができるように時には注意したりすることがあるが、相手に否定的な思いを持たせてしまうのではと素直に話が出来にくい。

連絡事項の伝達、人材育成、保護者対応がうまくいかないところが悩み。

保育士同士の人間関係にどこまで関わるか。また、職員間のトラブル。

園長と主任の協力の下に、どうしたら質の良い保育が提供できると思いますか

理念や方針を理解し、方針がぶれることなく、保育士に伝達、指導する立場で、園長と共に共通の意識をもち、明朗な態度で公正、確実に保育業務にあたり、共に保育をつくりあげていく。

職員が意志疎通を図り、問題課題を話し合える雰囲気をつくり、余裕、柔軟性、専門性、チームワークが持てる組織の環境や仕組み作り、共に研鑽していく、保護者に信頼される園づくりを目指す。

社会的に「お金」や「規則」や「権利」といった意識が重視されがちだが、真に「子ども」を中心とした意識が重視されるよう率先して、園長と主任が協力していくこと。

園の目標・方針に添っての共通認識をもち、「報・連・相」等、日々保育を考えられるよう、環境を整える。

気持ちを伝え合い、お互いがお互いを理解することで風通しを良くし、周知徹底を図る。

チームワーク良く、良い緊張感の中、日々の保育を振り返り、評価・反省し、課題・改善等を明確にすること。

子どもが主体であることを念頭において、いつでも保育士が主任や園長に相談や話がしやすい環境を作り、子どもたちの発達の為に意見を言い合い、何がベストかを考え、信頼関係を築いていく。

保育園で働く私たちは、それぞれの専門性と経験を活かし話し合い、協力し認め合うことで、子どもたち、保護者、地域に貢献する仕事です。そして、私たちは社会の一員であり、組織の1人として自覚し、子どもの成長、安全、未来を守り育てていきます。

園長は主任と共によりよい保育を考え、弱い所、たりない所を助け合い、共に歩みたいと望んでいます。また、主任はどのように補佐したらよいか、職員がどのようにしたら力を発揮してくれるのかを悩んでいます。その現状の中に、保育園の仕事が多い、疲れるなど、自分の弱さを社会のせいにして、自分の都合のいい価値観を押し付け、雰囲気の悪い保育園になってしまうことがあります。しかし、社会の風潮として、

親力が弱くなった今、保護者は宝物である我が子を保育園に預け、共に成長したいと託してくれています。

園長と主任は、山ほどある仕事を整理し、職員みんなが何でも話し合える雰囲気の保育園でありたいと思っています。そして、子どもの幸せが目的の組織であり、子どもも大人も生活しやすい場所こそ、よりよい保育を目指すことができ、そのことにより保育の資質が向上し、保育園もより地域社会に認められ、地位も向上していくのではないのでしょうか。誇りを持ち続け、結婚出産しても保育士を続けようと思える、魅力ある保育園でありたいと思います。

研究・研修部 もとの木保育園 園長 中嶋 貴子

平成22年度 予算対策部会事業計画

部長 中嶋 一雄

◆予算対策部は定款第4条(5)子育て支援並びに保育環境の向上に関する事業を行うに基づいて取り組む。具体的には↓

国や市の動向把握と情報収集、予算要望と市単独運営費補助の増額、保育制度問題・国のビジョン（子ども・子育て新システム検討会議）、子ども未来局保育課との懇談、議会への要望、市議会議員と懇談および関係の構築、国会議員との懇談・・・会員への情報提供など。

1. 23年度予算要望
2. 市単独補助金増額の要望（職員処遇改善費・施設運営費・研修費・給食費等への補助金の増額）
3. 全国政令都市の認可私立保育園団体との連携を強化し、保育界の動向を見据えた予算対策
4. 議会・行政との関係を強化し、認可保育園への理解と今後の運営の向上に努める

平成22年度 研究・研修部会事業計画

部長 丸山 和彦

今年度は部員一人一人が主体的に市内の研修活動を盛り上げていこうと、部内では役割分担を明確にし、年間の活動計画を増やしました。

特に「担当者研修」や「職員対象」の研修を増やす事で、市内の現場レベルでの交流を活性化させ、各園のノウハウを活かし合い、互いの研鑽を深めていきたいと考えております。

そこで、どうか今年度も積極的に研修活動にご参加頂けます様、お願い申し上げます。

- 【Ⅰ】講師を呼んだ園長・理事長・保育士向け研修会
- 【Ⅱ】担当者研修会（保育士・主任・看護師・地域子育て支援担当者等）
- 【Ⅲ】さいたま市内 研修・見学会
- 【Ⅳ】第3回さいたま市保育研究大会の手伝い
- 【Ⅴ】その他の研究・研修活動

平成22年度 広報部会事業計画

部長 和田 喜美

会員相互の交流を図り、保育界の情報、子育て支援に関する情報、研修会の報告と園紹介の特集など会員の皆様に向けた広報誌を発行します。

【活 動】

- ・年2回の広報誌を発行

【紙面の内容】

- ・保育界の情報
- ・子育て情報
- ・各部会の活動報告
- ・対談記事
- ・園紹介の特集など

平成22年度 調査部会事業計画

部長 島村 和宏

①幼児教育研究調査委員会への出席（さいたま市立幼児教育センター）
※幼児教育における諸問題について調査研究し、幼児教育の振興に資する。

※研究調査委員会での協議内容を役員会・定例会で報告し、調査部の活動内容を検討する。

②国や市の動向、他の地域・行政の取組等の調査

③アンケート調査

→市内各園を対象とし、運営上の問題、保育内容、取り組み等についての調査

④保育園・施設の視察調査

その他、他の部とも連携をし、必要な情報の調査について行う

【事業計画 概要】

- ・国や市の動向調査
- ・視察・調査
- ・各園の実態調査
- ・他の市や県の運営費の内容が分かる
- ・認可園を取り巻く行政の動きや社会的な動き等の情報をまとめ報告していく
- ・予算対策部・研修部との連携 必要な情報の調査
- ・運営上の問題への議論

平成22年度 食育部会事業計画

部長 和田 明子

今年度は、5年ごとに改訂される「食事摂取基準（2010年版）」を活用し、子ども達に見合った食事の提供ができるよう、食事に関わる栄養士等に伝えていき、健やかな子ども達の成長につなげていきたい。

今年度も、さいたま市私立保育園の更なる給食の充実を図ることを目的として、計画を立てていきたい。

- ①「食事摂取基準（2010年版）」の周知徹底
- ②調理講習会（各園の栄養士など給食に携わる職員を対象）の実施
- ③給食に携わる職員を対象にした勉強・意見交換会
- ④その他、必要に応じて研修を開いていく

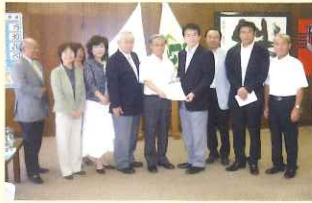
青年会ニュース

—— 枝野幸男さんとの座談会 ——



2010年5月8日（土）、枝野幸男民主党幹事長（子ども子育て新システム会議共同議長）をお迎えして座談会を行いました。枝野さんご自身も3歳のお子様を保育園へ預けていらっしゃる実感を含めて持論を交えながら保育制度（幼保一元化、地方分権、子ども手当）についてお話を伺いました。また保育士の給与についても触れられ、給与水準を上げることによって現場の強化につながると共に、国内消費に回ることにより非常に大きな消費刺激となり経済対策にもなると述べられました。また規制緩和による調理室の設置の有無について、現在の保育所がきめ細やかに対応しているように同等の質と安全性とコストを確保しながらアウトソーシングすることは難しいのではと述べられました。

さいたま市の私立保育園協会と幼稚園協会が市長・議長へ要望書を提出



7月2日、両協会役員が市長に会い、「(仮称)さいたま市子ども総合センター建設にかかわって両協会の要望書」を提出しました。子ども未来局榎本局長はじめ未来の会市議団の清水賢議員、長谷川浄意議員にも参加していただきました。剣持会長は要望書の主旨を説明し、浅沼会長が日頃からのご協力に感謝申し上げ、要望の主旨をぜひとも酌んでいただくことをお願いしました。清水市長は、要望について前向きに検討したい、就学前の保育・教育については両協会とぜひ話し合う機会を持ちたい旨を述べられました。その後、関根議長、高橋副議長にも要望書を提出しました。

清水市長は、要望について前向きに検討したい、就学前の保育・教育については両協会とぜひ話し合う機会を持ちたい旨を述べられました。その後、関根議長、高橋副議長にも要望書を提出しました。

ふれあいのひとコマ



近隣の方にお庭のみかんをいただきました



たのしい食育



とうもろこしの皮むきをしました



だしの味くらべ(昆布・煮干し・かつお節)

編集後記



5月2日、職員の結婚披露宴に招かれ、青森、五所川原に出かけました。翌日は弘前城の桜祭りと聞いて、夜桜を見にレンタカーを走らせました。アップライトに照らされた弘前城と一面のしだれ桜に「きれい、きれい」と止まらぬ感激の聲、歩き続けて気がつけば11時、朝、五所川原の立ちねぶたを見学し、またまた感動、製作に生かせないかと上から下からのぞき込み、「触れないでください」という注意書きが気になって仕方ない、心は子どもと同じです。

片道8時間が少々億劫に感じた道のりも、招かれた事に感謝の8時間の帰り道でした。もし機会があれば、部活帰りの中学生から口コミで広がった「揚げたい焼き」を食べてみたいかしがでしょう。塗した砂糖がマッチして美味でした。

広報部 和田喜美



新 会 員 紹 介

H21年開園

社会福祉法人 三樹会
ゆめいろ保育園

園 長 … 細野 智樹

所在地 … 〒338-0003 中央区本町東4-1-5

H22年開園

株式会社 みつば
スターチャイルド保育園《みなみ保育園》

園 長 … 柴田 ナヲ子

所在地 … 〒336-0021 南区別所6-15-22

社会福祉法人 祥和会
みう保育園

園 長 … 石合 延枝

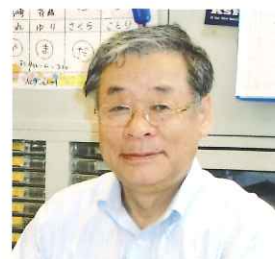
所在地 … 〒336-0962 緑区大字下野田940

社会福祉法人 まきば会
まきば保育園

園 長 … 河野 光成

所在地 … 〒337-0053 見沼区大和田1-1343-1

保・育・園・紹・介



わらしべ保育園

園長 剣持 浩

1970年に保育園が設立し今年で40年目を迎えました。旧浦和市時代、この地に多くの工場が進出し、保育所増設の声が高まっていました。この時代は保育園不足が深刻で「ポストの数ほど保育園を！」といった母親の運動がありました。旧浦和市から要請を受けた西浦和工場懇話会は、官民一体となった社会福祉事業推進を目的に財団法人を設立してわらしべ保育園が誕生しました。このような中で財団法人が保育園を設立するのは大変珍しく、当時の新聞記事が残っています。その後、市民の多様なニーズに応じて保育事業を推進するために1999年に財団法人を解散し、社会福祉法人いなほ会を設立することになります。設立当初から地域に根ざす保育園として地域の方々と深い絆が育まれ、隣の地主さんが無償で畑を使わせてくれて子どもたちがトマトやジャガイモ、サツマイモを植えて育てています。近所の農家の人が「大根取りに来ないか？」「稲の苗、取りに来い」と声をかけて下さり、地域に支えられています。また、ここで育った子どもが保育士になって働いています。「わらしべ(稲藁の芯)のようにまっすぐ強く、しなやかに優しい心で歩みましょう」がわらしべ保育園の精神です。



エンゼル保育園

園長 和田 明子

昭和39年、子どもを連れて働くという事は大変だと思った先代の園長が、働くお母さんの子どもを預かりたいと旧浦和市の別所に託児所を開設したのが、エンゼル保育園の始まりです。

段々と子どもの人数が増え、昭和48年、認可を受けて社会福祉法人エンゼル会 エンゼル保育園を開設致しました。その後、姉妹園として、昭和51年、緑区中尾にエンゼル乳幼児園を開設致しました。

無限の可能性を持っている子ども達に、より良い教育・保育を、と常に思案していた先代の園長により、キリスト教を基本理念とし、神様の愛の中で人を思いやる心を育て、リズムとテンポを大切に、知・情・体の調和のとれた三位一体の総合教育を行い、将来に向けて豊かな知性、感性を育てるお手伝いをしております。

そして平成8年4月、浦和区神明に移設致しました。核家族化が進み、お年寄りと触れ合う機会が少なくなっている事を危惧した設立者 立石 博子の『お年寄りと触れ合える場所を』という願いの下、デイサービスセンター フロールを併設致しました。温かく、丁寧で家庭的な保育園を目指し、日々努力精進致しております。